

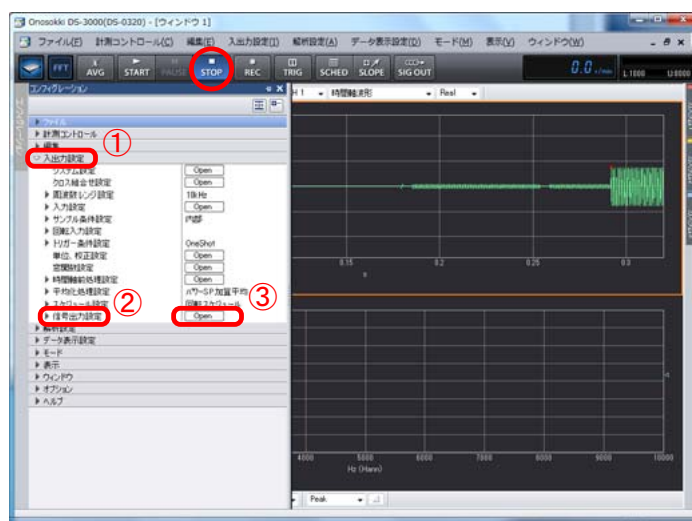
DS-0321 FFT 解析機能ソフトウェア
DS-0371 1 ch 信号出力モジュール
ORF ファイルを電圧出力する方法

DS-0321 FFT 解析機能ソフトウェア DS-0371 1ch 信号出力モジュール ORF ファイルを電圧出力する方法

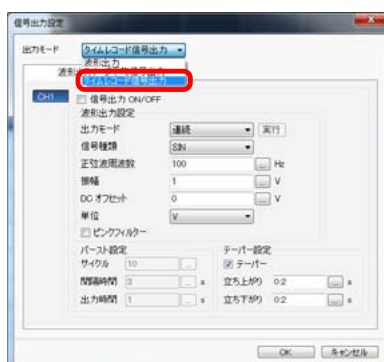
DS-0350 レコーディング機能ソフトウェアを使用して録音された ORF ファイルの波形を電圧出力する操作方法に関して説明します。

■ 操作

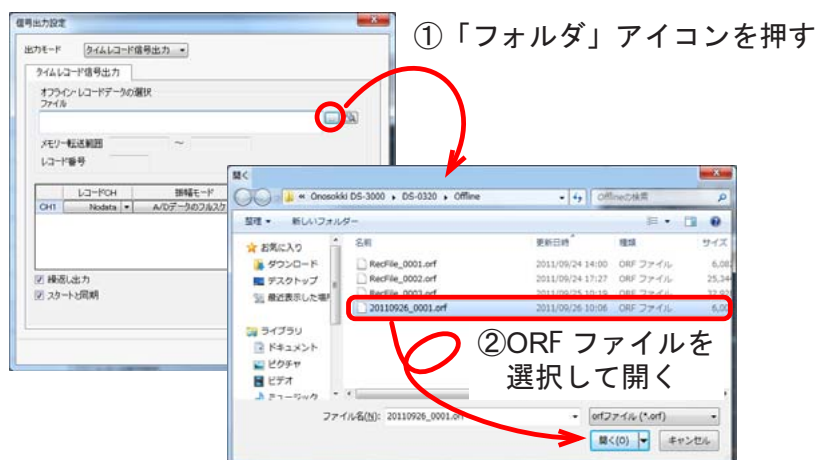
- (1) メインツールバーの「STOP」ボタンを押し、測定を停止します。
- (2) 「コンフィグレーション」ウィンドウで [入出力設定] → [信号出力設定] → [OPEN] の順にクリックします。



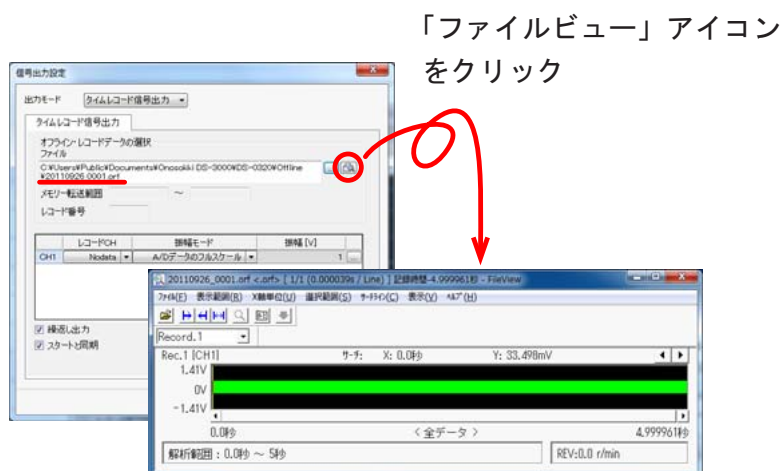
- (3) 表示される「信号出力設定」ウィンドウで、[出力モード] → [タイムレコード信号出力] を選択します。



- (4) 表示される「タイムレコード信号出力画面」で [フォルダ] アイコンをクリックし、信号出力したい ORF ファイルを選択して開きます。



- (5) 信号出力したい ORF ファイルが選択されていることを確認して、[ファイルビュー] アイコンをクリックします。ファイルビュー画面が開きます。



<注意>

1. 初めて ORF ファイルを開いた時、ファイルビュー画面下に<全データ>と表示されていない場合、メニューから [ファイル] → [プレビューファイル] をクリックしてください。



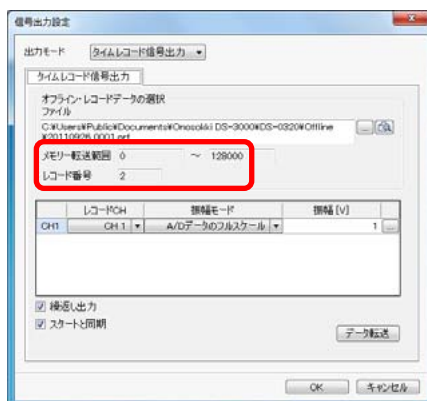
2. 「Record」が複数収録されている場合、再生したい「Record」番号を選択します。下図は「Record2」を選択した状態です



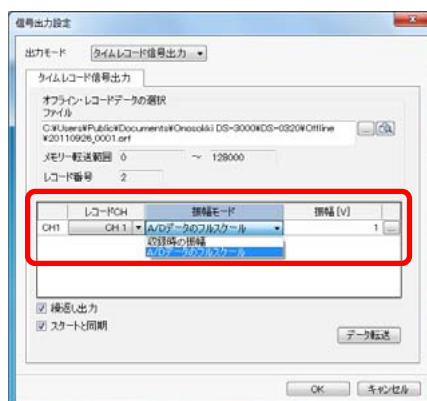
(6) 「タイムレコード信号出力画面」に、ファイルビュー画面で選択された情報；

- [メモリー転送範囲] (アドレス番号)
- [レコード番号]

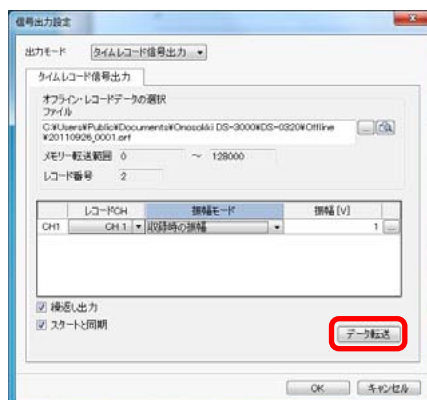
が表示されます。



- (7) 「タイムレコード信号出力画面」の〔振幅モード〕で信号出力の振幅を指定します。〔A/D データフルスケール〕を選んだ場合は〔振幅〕欄で電圧を設定します



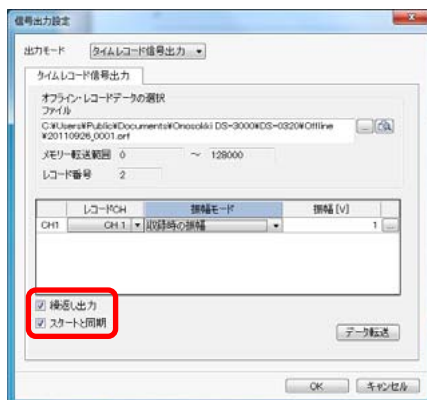
- (8) 「データ転送」ボタンをクリックします。指定した ORF データが DS-3000 本体へ読み込まれます。ORF データの読み込みが完了すると「・・・書き込みが完了しました」とメッセージが表示されます。



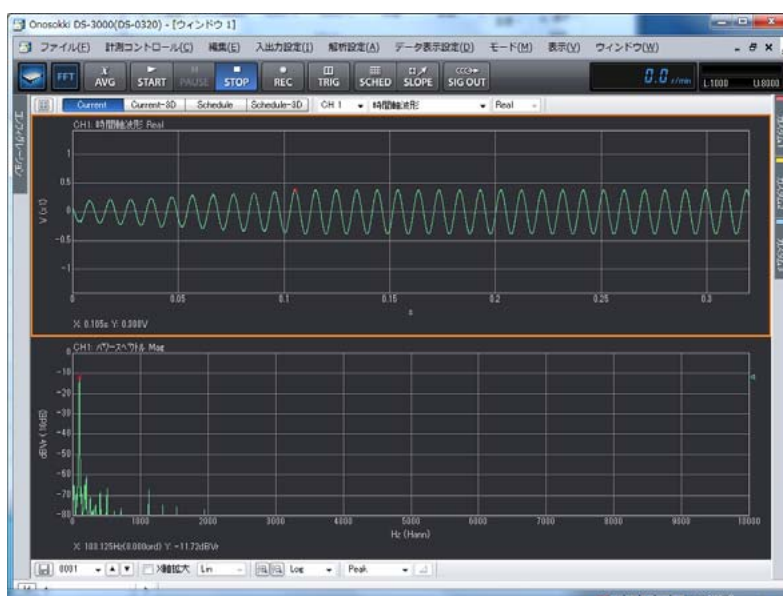
<注意>

1. データが読み込まれた後に設定変更するには上記手順 (4) から操作してください。

- (9) 「タイムレコード信号出力画面」で [スタートと同期] にチェックを入れます (「START」ボタンを押すと出力を開始する機能)。[繰り返し出力] にチェックを入れると、「STOP」ボタンを押すまで繰り返し出力します。また、いずれにもチェックを入れない場合、1回出力後は「SIG OUT」ボタンを押して OFF にするまで 0 V を継続して出力します。



下図は Signal Out コネクタを CH 1 に接続し、信号出力の波形をモニターした画面例です。



- (10) 出力範囲を設定するには、操作手順 (5) でファイルビューを開いた後に、ファイルビューの波形ウィンドウ内で設定したい範囲をドラッグして指定し、[データ転送] をクリックします。

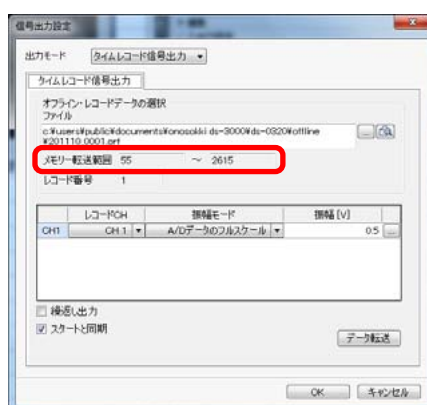
- ① 設定したい範囲をドラッグすると、下図のように青色で示されます。



- ② [範囲指定ボタン] をクリックし確定すると、指定範囲が緑色に変わります。



- ③ 範囲が確定されると、信号出力設定画面の [メモリー転送範囲] 欄に確定転送範囲が表示されます。



- ④ 範囲指定を変更したい場合は、再度、上記① ②を繰り返します。

<備考>

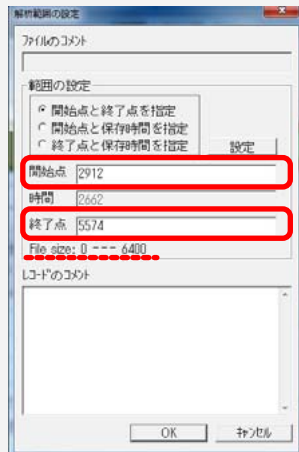
● メモリーアドレスでの出力範囲設定方法

- ① ファイルビューのメニューから [X 軸単位] → [アドレス] の順にクリックします。X 軸が時間表示からアドレス表示へ変わります。
- ② ファイルビューの波形データ内をマウスでクリックするとカーソル線が表示され、[サーチ: X: 361] などとアドレス値が表示されるので、この値をメモしておきます。



- ③ ファイルビューのメニューから [選択範囲] → [解析範囲の設定] をクリックします。開かれた「解析範囲の設定」ウィンドウで、「開始点」、「終了点」のアドレスをキーインし「OK」をクリックして確定します。

なお、「File size : 0 --- 6400」は ORF ファイルの始まりと終わりのアドレス（全データ長）を示しています。



- ④ 範囲が確定すると、「信号出力設定」ウィンドウの [メモリー転送範囲] 欄に設定したアドレス範囲が表示されます（先の操作手順 (10) - ③）。
- ⑤ 全画面選択に戻すには、③「解析範囲の設定」画面で、[開始点]、[終了点] に [File size : 0 --- 6400] の値を設定します。